



# バンコク便り



## 1. はじめに

タイでの新型コロナ新規感染者数は低水準で推移していましたが、最近では急激に増加傾向となっています。特にバンコク西隣のサムットサコーン県では17日以降で1,200人超増加し、県境移動や夜間外出制限が出されています。また同県に近いバンコク含む各地でも休校や新年へのカウントダウンイベントが中止や自粛となるなど、年末年始のお祝いムードから一転し、感染拡大防止に向け非常に敏感になってきております。今年も残り僅かとなりましたが晴れやかな気持ちで新年を迎えるためにも、タイも踏ん張り時となっています。

## 2. 当地ビジネス情報

### (①入国許可証 (COE) 取得、新システムの導入)

在東京タイ王国大使館によると、タイ国籍を有さない外国人がタイに入国する際に必要な書類のCOE取得手続きについて、来年1月から新システムを通じた申請方法へ変更されます。新システムでは手続きがウェブ上で完結し、航空券や隔離代替施設 (ASQ) 予約確認書の提出に若干の余裕ができるなど利便性が高まります。また本年12月23日には日本からの観光目的での渡航制限が緩和され、30日以内の短期滞在 (2021年9月末までは45日以内) はビザ不要となりましたが、COE取得や14日間の隔離は必要となります。詳細は、在東京タイ王国大使館HPをご確認ください。大使館HP: <http://site.thaiembassy.jp/jp/>

### (②日本食レストランの動向)

「2020年度タイ国日本食レストラン調査」がジェトロより発表され、日本食レストラン数は4,094店舗 (前年比12.6%増) となりました。新規出店は前年比1,183店舗増、閉店・休業は726店舗減となり、いずれも2007年の調査開始以来、過去最多となっています。今年は新型コロナウイルスの影響でバンコク市内では閉店する店が多いと感じていましたが、地方や商業施設では増加したため、前年比純増となったようです。

バンコクは日本食に限らず世界各国の飲食店があり、それが魅力の一つになっています。先日22日には世界で初めてラーメン店でのミシュラン一つ星を獲得した「Japanese Soba Noodles 蔦バンコク店」が大型商業施設セントラルワールド内にオープンしましたが、店頭には大行列ができるなど改めて日本食人気を感じることが出来ます。

タイの日本食レストラン店舗数 (単位: 店舗、%)

項目	2018年	2019年	2020年	前年比		
				増加数	減少数	増減率
寿司	457	688	1,038	504	154	50.9
日本食	797	945	1,015	225	155	7.4
ラーメン	386	429	420	57	66	△ 2.1
すき/しゃぶ	375	428	336	49	141	△ 21.5
居酒屋	246	283	285	65	63	0.7
焼肉	238	243	268	62	37	10.3
喫茶	84	149	205	78	22	37.6
丼専門	108	133	146	35	22	9.8
洋食	83	95	101	23	17	6.3
揚げ物	66	85	93	23	15	9.4
カレー/オムライス	50	60	91	38	7	51.7
鉄板お好み焼き	52	55	67	20	8	21.8
蕎麦うどん	52	44	29	4	19	△ 34.1
宅配	10	—	—	—	—	—
合計	3,004	3,637	4,094	1,183	726	12.6

出所: JETROバンコク

## 3. 現地トピックス

### (ICON SIAM 直結 ゴムタイヤ式無人車両ゴールドライン開通)

12月16日、自動案内軌条式旅客輸送システムのバンコク初の路線、ゴールドライン (全2両編成) 第1期区間が開通しました。BTS (高架鉄道) クルントンブリ駅から乗り換え、大型商業施設ICON SIAM前にも停車するなど、新たな移動手段としても注目されていますが、ゴムタイヤ式のためなのか乗車時の揺れが若干気になります。現在はバンコク中心部からの利用機会は限られているため、これからの延伸計画や周辺商業施設の開発などにより、より多くの人が乗車するラインになることが期待されます。



ゴムタイヤ式のゴールドライン車両

【本件に関する連絡先】 営業推進部 地方創生室 石井・高橋・榎 023-626-9050

【作成協力】 カシコン銀行日系金融法人チーム (在バンコク)